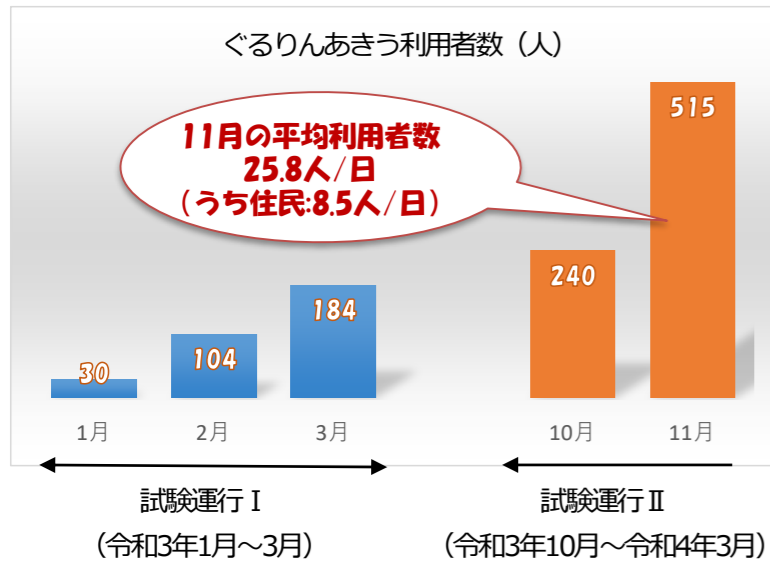




# 考える会通信 21号

ぐるりんあきうのご予約は、(有)秋保交通(ぐるりんあきうセンター)まで  
**予約の電話:022-304-9855** ※はじめに「ぐるりん号の予約です」とお伝えください。



◆500人以上の方に利用されました！  
 紅葉シーズン本番の11月は、1か月に500人(1日あたり約26人)以上と大変多くの方にぐるりんあきうをご利用いただきましたが、利用者の多くは観光客であり、地域住民の利用は3割程度に留まっています。(詳細は見開き参照)  
 12月以降は厳しい寒さの到来とともに観光需要の落ち着きが見込まれます。地域での集まりやイベント、お出掛けなどには、是非！快適で、安全・安心なぐるりんあきうをご利用ください！

新年明けましておめでとうございませう。私も還暦を過ぎ早2年、近い将来、運転免許証の返納を考える時期が来るでしょう。  
 私は今年度より、みやぎ仙台商工会秋保支部長に仰せつかり、この6月より岡崎清治前支部長の後任として、会に入り、会議に出席すると、役員皆さんの貴重なご意見や熱い思いを語る姿を多く目にします。  
 やはり、ぐるりんあきうが運行することにより、秋保住民の移動手段が確保され、暮らしが豊かになることは間違いなく、これからも、継続していくためにも、住民の皆さんの協力が一番と考えます。今回の試験運行期間中に、ぜひ一度はご利用いただきたいと思っております。  
 私は、9月まで実施されていた秋保オンデマンド交通(運営主体:JR東日本)を2度利用しましたが、とても使い勝手が良く、乗り合いも悪くないなと思いました。今時期に利用するとすれば、秋保温泉にゆったり浸かり、一献(お酒付きの)食事をし、ゆっくりしたい、と思っております。私と同じ考えを持つ方からすると、玄関先から目的地までドアツードアで運んでくれるぐるりんあきうが大変有難いものになるのです。  
 秋保には東西に見どころ味処がたくさんあります。どうぞ皆さんもお出掛けの計画をしていただき、秋保地域の活性化に繋がるよう、よろしくお願いいたします。

将来の免許返納を鑑み 大事にしたい交通手段です  
 秋保地区の交通を考える会  
 監査 大滝周広

★「考える会通信」は、町内会の協力をいただき、秋保町内にお住まいの皆様へ配布しています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## ぐるりんあきう 利用者インタビュー

「リフレッシュできました」  
**並木みなづき会の皆さん**  
 (代表 後藤 敏子さん)



12月2日(木)に地区社会福祉協議会サロンの並木みなづき会と地域包括支援センターがタッグを組み、ぐるりんあきうを利用した「お食事・お買い物ツアー」を開催しました。当日の朝は快晴でお出かけ日和。「アグリエの森」へ会員9名で乗り合い、買い物や食事を楽しみました。  
 初めて利用した感想は「みんなで一緒に出かけると同じ場所でも気分が違った」。「もっと乗っていてもよかったです。楽しかったのでまた利用したい」「丁寧にゆっくり運転してくれた」「久々に楽しめてリフレッシュできた」「低いステップが出てくるから乗りやすかった」などの声がありました。一方で「ぐるりんあきうは希望した場所に迎えに来てくれるものなのに、近くに停留所がないから利用出来ない」と勘違いしている人もいます。「バスへ乗り継ぎしたいときは、電話予約をするときにバス停の時刻を伝えなければいけないわね」など、利用するときの注意点に対する声もありました。  
 帰りの車内では「自分で湯元に行く時にも利用しようかな」「石神窯にみんなで行くのも楽しそう」と、次の利用に向けての話で盛り上がり、乗り合いでのお出掛けを満喫していました。  
 (インタビュー:秋保地域包括支援センター 添田氏)



ぐるりんあきうは多くの企業・団体に支えられています！

ぐるりんあきうを応援します <b>木の家</b> 電話: 022-397-2714	ぐるりんあきうを応援します <b>(株)小松商店</b> 電話: 022-398-2524	美しい秋保を応援しています <b>福聚山 慈眼寺</b> 電話: 022-399-5333	ぐるりんあきうを応援します <b>すがわら医院</b> 秋保町長袋字大原 31-1 電話: 022-399-2153
仙台 万華鏡美術館 Sendai Kaleidoscopes Art Museum 電話: 022-304-8080	ぐるりんあきうを応援します <b>野尻交流カフェ ばんどころ</b> 秋保町馬場字野尻町北 25-2 電話: 022-304-8080	ぐるりんあきうを応援します <b>(株)みかげ屋</b> 電話: 022-399-5090	ぐるりんあきうを応援します <b>みやぎ仙台商工会 秋保支部</b> 電話: 022-399-2846

発行: 秋保地区の交通を考える会 会長 及川 純一 電話 022-399-2133  
 支援機関: 仙台市 都市整備局 地域交通推進課 電話 022-214-8495

# 公共交通を利用するメリットを紹介します

近年、高齢者による自動車事故が社会問題化しており、運転免許の返納も話題になっています。高齢化が進む中、移動手段の確保は重大な課題です。ここでは、バスや電車などの公共交通を利用することでどのようなメリットがあるのかをご紹介します。テーマは「クルマの維持費(どっちが安くて安全?)」です。

**結構かかるクルマの維持費。あなたは把握出来ていますか？  
購入費、燃費、税etc… これらを1日あたりに換算すると？**



# 2,000円/日



今回は、クルマ利用と「維持費」について考えます。マイカーを持つことは、便利で快適。しかし、もちろん維持費もかかります。通勤のためにクルマを持っている方は、家計を見直すきっかけにもなるかもしれません。

## ◆ガソリンだけではない、クルマの維持費

クルマには、車両代の他、保険、税金、駐車場代が必ず必要です。また、2年に1回の車検も必要です。さらに、利用した分のガソリン代と、高速道路の料金、都心の駐車場代も場合によってはかかります。万が一の時は修理代や違反金等もかかるかもしれません。



## ◆普通に使うと、一日 2,000 円

たとえば、100万円の車(1,000cc 程度)を10年使う場合

- 保険…………… 18万円/年
- 税金…………… 7万円/年
- 駐車場代…………… 12万円/年
- 車検…………… 5万円/年
- ガソリン…………… 10万円/年
- 高速道路、都心の駐車場代…………… 3万円/年
- 修理代、違反金等…………… 10万円/年
- 車両代…………… 10万円/年

年間の維持費は約 **750,000円** に相当します。  
つまり、1日当たりのクルマの維持費は約 2,000円になります。いいクルマを購入したり、事故による修理代等がかさんだ場合は、もっとかかります。

参考資料：日本モビリティマネジメント会議 HP

## ◆公共交通での通勤に転換で経費節減も!?

公共交通で通勤すると、一般的には定期代が全額支給されます。クルマで通勤する場合、ガソリン代相当は支給されますが、維持費全額を賄う分は支給されません。

**クルマの維持費は毎日かかります。維持費も考えたうえでクルマの所有について見直しを検討してみませんか？**

# 来年度の運行計画について話し合いました



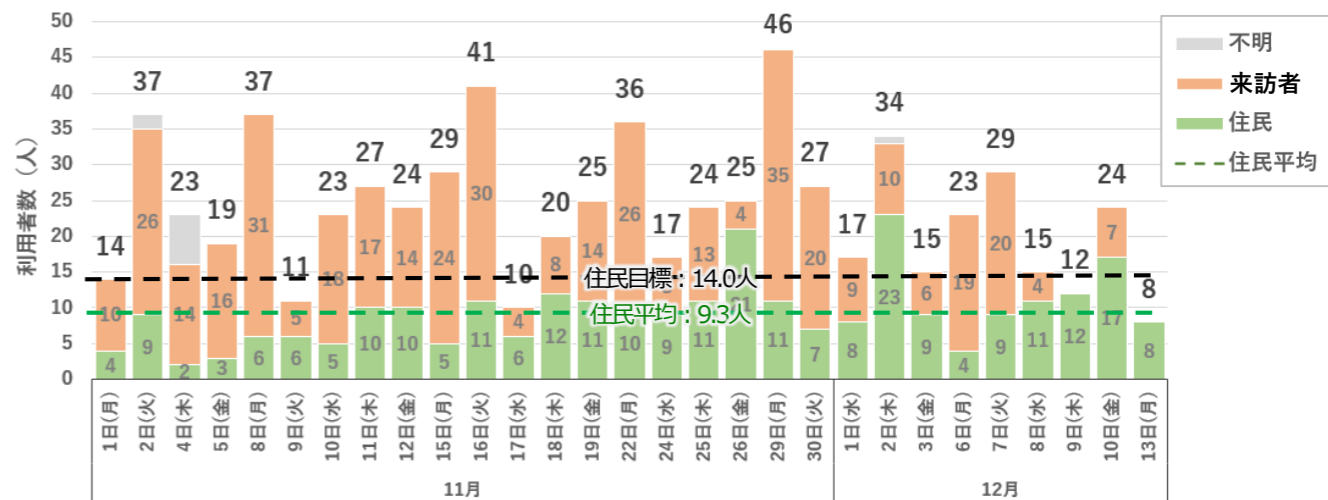
15名が出席した代表者会議の様子

12月15日に、今年最後の考える会代表者会議を開催しました。会議では、実施中の試験運行の利用状況や利用促進策、来年度の試験運行の内容について話し合いました。

今回は、来年度の事業計画や今後の広報活動について話し合います。

## 会議で出された意見の一部を紹介します。

- ☞ぐるりんあきうの原点は「地域住民の移動手段の確保」。地域住民に使ってもらうためには、各町内会での説明会は必須。顔を合わせて話せば、内容が伝わりやすく、理解が得られやすい。
- ☞観光客の利用が多いのは嬉しいことだが、住民の利用者の平均は9.2人/日に留まっており、目標の14人/日に届いていない（下記グラフ参照）。今後はもっと住民に利用してもらえようような取り組みが必要。
- ☞利用増進には各町内会の協力が必要。多くの方に代表者会議に出席いただきたい。広報誌（考える会通信）で会議の様子を掲載するなど、いつでも参加できる雰囲気をお伝えしてはどうか。
- ☞愛子方面への運行範囲の拡大は、来年度4月からの運行を目指していたが、既存交通事業者との協議に時間を要しているため、年央での運行を目標として慎重に協議を進める。
- ☞運行内容が複雑になると利用者に理解いただけず、利用しにくくなる恐れがあるため、例えば、紙芝居のように見ればすぐ分かるような説明方法を検討する必要がある。



利用者数（住民・来訪者別）の推移 ※来訪者：観光やビジネス等で秋保町を訪れた方の総称